

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

職業実践専門課程 産業デザイン学科 グラフィックデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次 学期	授業時数
	必修	選択		
デザイン概論	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅰ	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅱ	○		1年・後期	30
コンセプトメイキング	○		1年・前期	60
デッサン	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅰ	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅱ	○		1年・前期	60
印刷・レイアウト基礎	○		1年・前期	60
DTP演習Ⅰ	○		1年・前期	60
基礎デザインⅠ	○		1年・前期	60
ビジュアル表現	○		1年・前期	60
グラフィック演習	○		1年・後期	60
基礎デザインⅡ	○		1年・後期	30
広告デザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	60
印刷・レイアウト演習	○		1年・後期	60
DTP演習Ⅱ	○		1年・後期	30
WebデザインⅠ	○		1年・後期	30
撮影基礎	○		1年・後期	30
パッケージデザインⅠ	○		1年・後期	30
グラフィック表現テクニック	○		2年・前期	60
インフォメーションデザイン	○		2年・前期	60
コミュニケーションデザイン	○		2年・前期	60
広告デザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅲ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅳ	○		2年・前期	60
WebデザインⅡ	○		2年・前期	60
専門技術演習Ⅰ				
ブランディングデザイン				
アートディレクション		○	2年・前期	60
撮影テクニック				
専門技術演習Ⅱ				
広告プランニング				
パッケージデザインⅡ		○	2年・前期	60
シルクスクリーン				
英語	○		1年・前期	30
合 計				1470

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川: 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田: 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **デザイン概論**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているのか、各種事例研究を通じて理解するとともに、アートとデザインの違い、広告制作をはじめとした何らかの情報伝達を行う際に、クリエイターとして留意すべき点等について学ぶ。

■到達目標： 1: 社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているか理解している。
2: 課題制作において「誰に」「何を」「どう伝えるか」を意識して取り組むことができる。
3: リサーチやブレインストーミング・プレゼンテーションなど、他者との協働による作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 ガイダンス、デザインの代表的な分野・領域
- 第2回 デザインとアート、情報の伝達
- 第3回 広告とは(新聞広告等を用いた事例研究)
- 第4回 企画とは(アイデアを出すための視点)
- 第5回 グループワークA①(第三者へモノ・コトの魅力を伝える)
- 第6回 グループワークA②(第三者へモノ・コトの魅力を伝える)
- 第7回 グループワークA③(プレゼンテーション・講評)
- 第8回 関係性の可視化①(視点の動かし方、他者の視点を知る)
- 第9回 関係性の可視化②(視点の動かし方、他者の視点を知る)
- 第10回 関係性の可視化③(プレゼンテーション・講評)
- 第11回 グループワークB①(作業マニュアル作り)
- 第12回 グループワークB②(作業マニュアル作り)
- 第13回 グループワークB③(プレゼンテーション・講評)
- 第14回 グループワークB④(ブラッシュアップ)
- 第15回 グループワークB⑤(ブラッシュアップ)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：新明 史子 (非常勤講師)
実務経験：オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名：基礎造形Ⅰ

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：前半は検定試験公式テキストを使用し色彩理論の基礎を学ぶ。
後半は基礎的な平面構成課題を通して構成力・イメージの抽象表現力・実用的な色彩感覚等を養う。
実用的な色彩感覚を養うことを目指した課題に取り組む。

■到達目標：1: 色彩士検定取得に向けて、演習を通して色彩理論の基礎を身に付ける。
2: 色彩及び構成の基礎を学び、用途やデザインに適した実用的な配色ができる。
3: 積極的に課題に取り組む姿勢を身につけ、より完成度の高い作品を目指す向上心を育成する。

■授業計画：

- 第1回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ(モノクロ1色印刷による制作物)
- 第2回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ(モノクロ1色印刷による制作物)
- 第3回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ(モノクロ1色印刷による制作物)
- 第4回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ(特色2色印刷による制作物)
- 第5回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ(特色2色印刷による制作物)
- 第6回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ(特色2色印刷による制作物)
- 第7回 連携授業 PRポスター(ラフデザイン制作)
- 第8回 連携授業 PRポスター(ラフデザイン制作)
- 第9回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第10回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第11回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第12回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第13回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第14回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第15回 色彩士検定対策②

■教科書：カラーマスターBASIC 配色カード158b

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：新明 史子（非常勤講師）
実務経験：オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名：基礎造形Ⅱ

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：平面から立体へ展開しながら、紙という材料の基本的な加工方法や、その特性、紙を使った造形の可能性を学ぶ。素材や資料の研究、アイデアを形にするための積極的な実行力や企画力、的確な計画性などの重要性を理解する。

■到達目標：1: 紙の基本的な加工方法・紙の目・厚さ・種類等の特性を知り適切な紙を選べる。
2: 基本的な製本技術を覚え、オリジナルの本づくりを通して企画力・表現力を養う。
3: もの作りの本質を考え、表現の幅を広げながら丁寧な手作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 ハードカバー①(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第2回 ハードカバー②(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第3回 紙の特別講義
- 第4回 プレゼンテーション、講評
- 第5回 紙の造形①(モビール)
- 第6回 紙の造形②(モビール)
- 第7回 紙の造形③(モビール)
- 第8回 紙の造形④(モビール)
- 第9回 ブックデザイン①(紙を活かした視覚的に美しいデザインの本を考える)
- 第10回 ブックデザイン②(ページ数・大きさ・製本方法等を考え試作を作る)
- 第11回 ブックデザイン③(試作をもとに本文を制作)
- 第12回 ブックデザイン④(試作をもとに本文を制作)
- 第13回 ブックデザイン⑤(試作をもとに本文を制作)
- 第14回 ブックデザイン⑥(美しさと強度を両立させた製本)
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コンセプトメイキング**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：表現する技術を取得する前に身に付けておきべきデザインの本質的な価値や機能を学ぶ。クリエイティビティの幅を広げるための多角的な視点を得る。

■到達目標：1:デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、デザインの意義や価値を見出すことが出来る視点をマインドを持てるようになる。
2:デザインとの関わり方を自己探索する。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 デザインってなんだ①(デザインとは何か、デザイナーとは何か)
- 第3回 デザインってなんだ②(デザインの収集)
- 第4回 デザインってなんだ③(収集したデザインの公開、批評)
- 第5回 デザインってなんだ④(収集したデザインの公開、批評)
- 第6回 デザインってなんだ⑤(デザインと企業、デザインと社会、デザインと人との関係を考える)
- 第7回 デザインをはじめよう①(実習:アウトプット)
- 第8回 デザインをはじめよう②(実習:アイディア)
- 第9回 デザインをはじめよう③(プレゼンテーション、講評)
- 第10回 コンセプトとコミュニケーション①(調査・情報収集)
- 第11回 コンセプトとコミュニケーション②(調査・情報収集)
- 第12回 コンセプトとコミュニケーション③(コンセプトプランニング)
- 第13回 コンセプトとコミュニケーション(実習)
- 第14回 コンセプトとコミュニケーション(実習)
- 第15回 コンセプトとコミュニケーション⑥(プレゼンテーション、講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 小田 啓介 (非常勤講師)
実務経験： フリーのイラストレーター。グラフィックデザイナー、webデザイナーとしても活動。
現・北海道イラストレーターズクラブアルファ会長・北海道版画協会会員。

科目名： **デッサン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 最も重要な基本的技術であるデッサン力を学ぶ。繰り返しデッサンを描くことで必要なさまざまな技術、特にグラフィックデザイナーに必要な「観察力」を養う。決められた時間でモチーフ、モデルを観察して素描するクローッキーを通じて、物事を観察し、理解し、言語化できることを目指す。

■到達目標： 平面表現の基本である、輪郭補助線と面の関係、陰影、質感、量感、遠近法などを理解して、人に意図が伝わるデッサン表現ができる。またデッサン力の重要性を認識し、その能力を自分自身の力で今後も伸ばせていける、基礎力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 グラフィックにおけるデッサンの重要性、また基本的理論と技法について
- 第2回 人物クローッキー①
- 第3回 静物デッサン①(直方体)
- 第4回 静物デッサン①(直方体)
- 第5回 人物クローッキー②
- 第6回 静物デッサン②(円柱)
- 第7回 静物デッサン②(円柱)
- 第8回 人物クローッキー③
- 第9回 静物デッサン①(白と黒のモチーフを描く)
- 第10回 静物デッサン②(白と黒のモチーフを描く)
- 第11回 静物デッサン③(白と黒のモチーフを描く)
- 第12回 人物クローッキー④
- 第13回 静物デッサン①(自分でモチーフを選び描く)
- 第14回 静物デッサン②(自分でモチーフを選び描く)
- 第15回 静物デッサン③(自分でモチーフを選び描く)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験：広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名： **グラフィック基礎Ⅰ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

- 科目概要：
- 1: デザイン道具の正しい使い方を知る。
 - 2: グラフィックデザインの構成要素を使つての演習により「基礎知識」と「表現方法」を身につける。
 - 3: アートプログラムを用いた造形表現を楽しみ、思考の柔軟性を高める。
 - 4: 文字情報の扱い方のスキル定着を図る。
- 到達目標：
- 1: 情報やメッセージを伝える方法を3点以上発想することができ、アイデアを可視化することができる。
 - 2: デザインを表現、定着させるための基礎的手作業を行うことができる。

■授業計画：

- | | |
|------|--|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | デザイン道具を使つてみる(ペーパークラフトによるアドカーの制作) |
| 第3回 | デザイン道具を使つてみる(ペーパークラフトによるアドカーの制作) |
| 第4回 | デザインの基礎知識にふれる(アナログ造形表現・アートプログラム) |
| 第5回 | デザインの基礎知識にふれる(アナログ造形表現・アートプログラム) |
| 第6回 | 基礎的表現力と技術力をつける(文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作) |
| 第7回 | 基礎的表現力と技術力をつける(文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作) |
| 第8回 | 基礎的表現力と技術力をつける(文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作) |
| 第9回 | 基礎的表現力と技術力をつける(文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作) |
| 第10回 | 基礎的表現力と技術力をつける(文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作) |
| 第11回 | 基礎的表現力と技術力をつける(文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作) |
| 第12回 | プレゼンテーション、講評 |
| 第13回 | 実践的表現力と技術力をつけるⅠ(文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作) |
| 第14回 | 実践的表現力と技術力をつけるⅠ(文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作) |
| 第15回 | 実践的表現力と技術力をつけるⅠ(文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作) |

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：堀 じゅん子 (非常勤講師)
実務経験：グラフィックデザイナー・イラストレーターとして広告代理店に勤務後独立し、
デザイン制作会社経営

科目名： **グラフィック基礎Ⅱ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：前半では造形基礎として、画面の構成、造形要素、配色の調和などについて制作を通じて学ぶ。また、遠近法や視覚心理など、グラフィックデザインに必要な基礎的知識を短い講義や小課題を通して、多様な表現に触れながら身につける。後半では制作物の目的やターゲット層を意識しながら、前半の学びを応用した課題制作に取り組む。

■到達目標：
1: 点・線・面・など造形の基本的な構成要素について理解している。
2: 黄金比を活用した面分割による画面構成の効果について理解している。
3: 与えられたテーマについて、目的や伝える相手を意識しながらイメージを可視化する方法を工夫できる。
4: 制作物と提案内容についてわかりやすくまとめ、第三者へプレゼンテーションできる。

■授業計画：

- 第1回 構成の要素①(点・線による構成)
- 第2回 構成の要素①(点・線による構成)
- 第3回 構成の要素②(面による構成)
- 第4回 構成の要素②(面による構成)
- 第5回 構成の要素②(面による構成)
- 第6回 構成の秩序(リズムとルール)
- 第7回 デザイン概論①(デザイン史と表現の多様性)
- 第8回 デザイン概論②(視覚と心理)
- 第9回 デザイン概論③(シンボライズ)
- 第10回 PRポスター①(コンペ課題)
- 第11回 PRポスター②(コンペ課題)
- 第12回 PRポスター③(コンペ課題)
- 第13回 PRポスター④(コンペ課題)
- 第14回 PRポスター⑤(コンペ課題)
- 第15回 PRポスター⑥(コンペ課題)

■教科書：

■参考書： 構成学のデザイントレーニング、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験：広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名：印刷・レイアウト基礎

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：単色印刷からフルカラー印刷まで、演習課題を通じて文字組とレイアウトの基礎テクニックを習得しながら、ひとつの印刷物が出来上がるまでのワークフローを理解する。

■到達目標：
1: ビジュアルと文字を組み合わせながら、全体をバランス良く配置できる。
2: 印刷の基礎知識を身に付けると共に、印刷物制作のワークフロー・係るスタッフの関係性を理解している。
3: 必要に応じてアプリケーションを選択し、アナログ作業も活かしたデザインができる。

■授業計画：

- 第1回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ(モノクロ1色印刷による制作物)
- 第2回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ(モノクロ1色印刷による制作物)
- 第3回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ(モノクロ1色印刷による制作物)
- 第4回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ(特色2色印刷による制作物)
- 第5回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ(特色2色印刷による制作物)
- 第6回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ(特色2色印刷による制作物)
- 第7回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフデザイン制作)
- 第8回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフデザイン制作)
- 第9回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第10回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第11回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第12回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第13回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第14回 プロモーションBOOK(4色印刷による冊子制作)
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社のクリエイティブ部門でグラフィックデザイナーとして勤務後、スポーツイベント企画運営会社にてデジタル媒体の企画・制作などを担当。

科目名： **DTP演習 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 1: アプリケーションの特性・基本的な操作方法、デジタルデータの基礎知識や管理の方法を学ぶ。
2: IllustratorとPhotoshopの特性の理解・役割の把握・連動させた操作など、
反復練習でスキルの習得を目指す。

■到達目標： 1: アプリケーションの特性、基本的な操作方法を理解して使うことができる。
2: 作業手順を段取り良く組み立て、効率よく作業をすることができる。
3: Illustrator検定試験の受験者全員合格。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、DTPに必要な基礎知識、室内設備・使用時のルール 等
Illustratorの基本操作を覚える①(オブジェクトの操作・変形・編集・カラーパレット)
- 第2回 Illustratorの基本操作を覚える②(ペンツール、フリーハンド系のツール、線の設定)
- 第3回 Illustratorの基本操作を覚える③(各ツールの復習、レイヤー、プリンターの知識)
- 第4回 Illustratorの基本操作を覚える④(各ツールの復習、画像配置)
- 第5回 Illustratorの操作 応用(基本操作のおさらい、目的に合わせた効率の良い操作の仕方①)
- 第6回 Illustratorの操作 応用(基本操作のおさらい、目的に合わせた効率の良い操作の仕方②)
- 第7回 Illustratorの操作 実践(コンペ課題制作)
- 第8回 Illustratorの操作 実践(コンペ課題制作)
- 第9回 Illustratorの操作 実践(コンペ課題制作)
- 第10回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作)
- 第11回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作)
- 第12回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作)
- 第13回 Photoshopの基本操作を覚える①(デジタルデータの仕組み、画像補正①)
- 第14回 Photoshopの基本操作を覚える②(デジタルデータの仕組み、画像補正②)
- 第15回 Photoshopの基本操作を覚える③(デジタルデータの仕組み、画像補正③)

■教科書： 『Illustratorよくばり入門』
『Photoshopよくばり入門』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名： **基礎デザイン I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： グラフィックデザインの重要な構成要素である「文字」について基礎知識から実践までを理解する。文字の歴史やレタリング・タイポグラフィの基礎知識、技術基礎、書体(フォント)の種類とイメージについて広く学びながらリサーチ力や応用力を身につける。また、アナログからデジタルまでの一連の流れを理解する。

■到達目標： 1: グラフィックデザインにおける「文字」の重要性や多様性について理解する。
2: 基本的な造形力や書体の選択力を身に付け、紙面構成や媒体に合わせた文字構成ができる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、文字を活かした自己表現
- 第2回 プレゼンテーション、文字(フォント)に関する基礎知識・演習
- 第3回 フォントイメージの分類・分析
- 第4回 フォントの扱い方／基礎(PCを使用したフォントの操作練習)
- 第5回 フォントの扱い方／応用(文字詰め・文字組)
- 第6回 タイポグラフィ①(文字あそび)
- 第7回 タイポグラフィ①(文字あそび)
- 第8回 タイポグラフィ①(文字あそび)
- 第9回 タイポグラフィ②(タイポグラフィ表現)
- 第10回 タイポグラフィ②(タイポグラフィ表現)
- 第11回 タイポグラフィ②(タイポグラフィ表現)
- 第12回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第13回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第14回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第15回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：浅野 ルリ子 (非常勤講師)
実務経験：フリーランスイラストレーターとして、パンフレット・ポスター・装丁等広告物のイラストレーション制作を手掛ける。

科目名：ビジュアル表現

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：各種画材(水性色鉛筆、パステル、ガッシュ、マーカー)の基礎的な知識と使い方を学び、その中からそれぞれの画材の持つ印象を理解し、イメージに合わせた画材選びを工夫する。デジタルとは異なる表現方法を研究し、様々な課題制作に応用できる自由な発想力を身に付ける。

■到達目標：
1: 画材の基本的な使い方とそれぞれの画材が与える印象を理解する。
2: 手作業の持つ面白さや表現の強さを感じ取り、デジタルとは違う魅力を理解する。
3: 道具の扱い方や後始末など、丁寧な作業が習慣的にできる。

■授業計画：

- 第1回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
- 第2回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
- 第3回 課題②(パステルによる表現)
- 第4回 課題②(パステルによる表現)
- 第5回 課題②(パステルによる表現)
- 第6回 アクリル絵の具 特別講義・ワークショップ
- 第7回 課題③(アクリル絵の具による表現と制作)
- 第8回 課題③(アクリル絵の具による表現と制作)
- 第9回 課題④(マーカーを用いたキャラクターデザイン)
- 第10回 課題④(マーカーを用いたキャラクターデザイン)
- 第11回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第12回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第13回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第14回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第15回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名： **グラフィック演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 1: 実践的課題演習により前期で身に付けた基礎的表現力や技術力をさらに高める。
2: 文字情報の扱い方スキルアップ。
3: 完成までの工程を自己管理し定着できる実力をつける。

■到達目標： 情報やメッセージを伝達するための工夫を行い、ビジュアル、文字、色彩、レイアウトなどを考え、手作業とデジタルの両面で定着することができる。

■授業計画：

- 第1回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作）
- 第2回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作）
- 第3回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作）
- 第4回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作）
- 第5回 プレゼンテーション、講評
- 第6回 フォントレクチャー、特別講義
- 第7回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第8回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第9回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第10回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第11回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第12回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第13回 プレゼンテーション、講評
- 第14回 進級制作課題（イベント告知ポスター）
- 第15回 進級制作課題（イベント告知ポスター）

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：長谷川 かおり（専任教員）
実務経験：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名：基礎デザインⅡ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：前期で習得した「文字」の基礎知識と技術を踏まえ、基本エレメントを意識したデザインへ展開（フォントデザイン）。グラフィックデザインにおける記号（単化形成、ピクトグラム、シンボルマーク等）の社会的な役割・必要性や制作プロセスを理解し、演習課題を通じて表現力を強化する。

■到達目標：1:「文字」の基礎知識や柔軟な発想力を発揮し、完成度の高い作品を仕上げられる。
2: 紙面構成や媒体に合わせた書体（フォント）選択や文字構成ができる。

■授業計画：

- 第1回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第2回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第3回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第4回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第5回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第6回 タイポグラフィ③(オリジナルフォントデザイン)
- 第7回 文字詰め・文字組(媒体に合わせた文字詰め・文字組の演習)
- 第8回 文字詰め・文字組(媒体に合わせた文字詰め・文字組の演習)
- 第9回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現①(モノグラム)
- 第10回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現①(モノグラム)
- 第11回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現①(モノグラム)
- 第12回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現②(ピクトグラム)
- 第13回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現②(ピクトグラム)
- 第14回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現②(ピクトグラム)
- 第15回 グラフィックデザインにおける記号 単価表現①・② プレゼンテーション

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：木野村 博人 (非常勤講師)
実務経験：広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名： **広告デザイン演習Ⅰ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要： 感覚的なものも大事にしつつ、基本的なルールを踏まえたうえで、情報の整理やレイアウトの効果を意識して、見る人に働きかける広告物について考察する。また企業連携によるクライアントワークに取り組み、入稿用データの作り方等、実践的なスキルを高める。

■到達目標： 1: コピー・文字情報・色・書体等の細かな作業を丁寧に行うことができる。
2: パターンやルールを覚え、どのような環境でも素早く作業を進められる。
3: 入稿用データの基本的なルールを理解してDTP作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 企業連携課題：イベント告知ポスター（アイデア出しと打合せ）
- 第2回 企業連携課題：イベント告知ポスター（企業オリエンテーション）
- 第3回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第4回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第5回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第6回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第7回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザインチェック）
- 第8回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザイン最終チェック）
- 第9回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザイン最終修正、仕上げ）
- 第10回 企業連携課題：イベント告知ポスター（企業プレゼンテーション）
- 第11回 新聞広告（小型）制作①
- 第12回 新聞広告（小型）制作②
- 第13回 新聞広告（小型）制作③
- 第14回 新聞広告（小型）制作④
- 第15回 新聞広告（小型）制作⑤（プレゼンテーション）

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験：広告制作会社を経営し、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名：印刷・レイアウト演習

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：デジタル入稿による小冊子制作演習を通じて、文字組とレイアウトの強化を図り、正しい情報の選択とリサーチや取材力を身に付ける。校正記号や入稿プロセスを学習し、適切な入稿用データを作れるようにする。広告ツール制作では、デジカメ撮影を行い、立体的な構図を意識させ効果的な広告を作れるように学習する。

■到達目標：
1: 印刷物の制作プロセスを理解しデジタル入稿に必要なスキルが身に付いている。
2: チーム作業を通じて、最後まで責任をもって担当作業に臨むことができる。
3: ビジュアルや文字をバランス良くレイアウトできる。
4: クライアントやターゲットに沿った企画立案ができる。

■授業計画：

- 第1回 演習Ⅱ 小冊子制作①(チームミーティング①)
- 第2回 演習Ⅱ 小冊子制作②(チームミーティング②)
- 第3回 演習Ⅱ 小冊子制作③(ラフ制作・企画とレイアウトのチェック)
- 第4回 演習Ⅱ 小冊子制作④(情報収集・取材・撮影)
- 第5回 演習Ⅱ 小冊子制作⑤(情報収集・取材・撮影)
- 第6回 演習Ⅱ 小冊子制作⑥(情報収集・取材・撮影・データ制作)
- 第7回 演習Ⅱ 小冊子制作⑦(データ制作・デザインチェック)
- 第8回 演習Ⅱ 小冊子制作⑧(データ制作・デザインチェック・初校)
- 第9回 演習Ⅱ 小冊子制作⑨(初校戻し・データ修正)
- 第10回 演習Ⅱ 小冊子制作⑩(データ修正・チェック・再校)
- 第11回 演習Ⅱ 小冊子制作⑪(再校戻し・最終修正)
- 第12回 演習Ⅱ 小冊子制作⑫(最終修正・校正)
- 第13回 演習Ⅱ 小冊子制作⑬(入稿用データ完成・出力紙とデータを提出)
- 第14回 授業連携 広告ポスター制作(撮影した写真に効果的なコピーや文字情報をレイアウト)
- 第15回 授業連携 広告ポスター制作(撮影した写真に効果的なコピーや文字情報をレイアウト)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社のクリエイティブ部門でグラフィックデザイナーとして勤務後、スポーツイベント企画運営会社にてデジタル媒体の企画・制作などを担当。

科目名： **DTP演習Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要：
1: IllustratorやPhotoshopのアプリケーション操作、データ管理の熟知。
2: 進級制作に向けた知識と技術のスキルアップ。
3: 第三者が閲覧・操作しても分かりやすいデジタルデータの制作、データの管理ができる。

■到達目標：
1: アプリケーションの特性、基本的な操作方法を理解して使うことができる。
2: 作業手順を段取り良く組み立て、効率よく作業をすることができる。
3: Illustrator・Photoshop検定試験の受験者全員合格。

■授業計画：

- 第1回 Photoshopの基本操作を覚える④(画像補正、練習問題)
- 第2回 Photoshopの基本操作を覚える⑤(画像切り抜き)
- 第3回 Photoshopの基本操作を覚える⑥(画像合成)
- 第4回 Photoshopの基本操作を覚える⑦(画像合成)
- 第5回 Photoshopの基本操作を覚える⑦(画像合成)
- 第6回 Photoshopの応用操作を覚える①(基本操作のおさらい、応用操作)
- 第7回 Photoshopの応用操作を覚える②(基本操作のおさらい、応用操作)
- 第8回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題)
- 第9回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題)
- 第10回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題)
- 第11回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題)
- 第12回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題)
- 第13回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題)
- 第14回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題)
- 第15回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題)

■教科書： 『Illustratorよくばり入門』
『Photoshopよくばり入門』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 佐々木 裕司 (非常勤講師)
実務経験： デザイン会社でDTPのディレクション業務を担当。現在はフリーランスとしてWebデザインを中心としたグラフィックデザインに携わる。

科目名： **Webデザイン I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： インターネットとWebサイトの基本知識を学ぶとともに、Illustrator・Photoshopの「Webパーツ制作のための使い方」およびWebサイトに適した画像パーツ制作の過程を学ぶ。また、HTMLをコーディングして構造・記述ルールの基本やCSS(スタイルシート)の役割と使い方を理解しながら、Webサイトデータを作り上げる。

■到達目標： 1: IllustratorやPhotoshopなどの画像編集ソフトを使ったWeb用画像の制作・書き出しができる。
2: HTML・CSSの活用方法を理解して、Webサイトデータの適切なコーディングができる。

■授業計画：

- 第1回 インターネットとWebサイトの基礎知識・解説
- 第2回 Webサイト基礎①(解像度・ピクセル単位・RGBカラーコード・画像フォーマット)
- 第3回 画像パーツ制作①(バナー制作)
- 第4回 画像パーツ制作②(バナー制作)
- 第5回 Webサイト基礎②(HTML、文書構造の解説)
- 第6回 コーディング基礎①(自己紹介サイト:HTML)
- 第7回 コーディング基礎②(自己紹介サイト:CSS)
- 第8回 コーディング基礎③(自己紹介サイト:HTMLとCSSの相互活用)
- 第9回 画像パーツ制作③(自己紹介サイト:アイキャッチ制作)
- 第10回 画像パーツ制作④(自己紹介サイト:アイキャッチ制作)
- 第11回 コーディング基礎⑥(自己紹介サイト:コーディング実践)
- 第12回 コーディング基礎⑦(自己紹介サイト:コーディング実践)
- 第13回 コーディング基礎⑧(自己紹介サイト:コーディング実践)
- 第14回 Webサイトのレイアウト考察
- 第15回 Webサイトのレイアウト考察、進級制作準備

■教科書： これからはじめるHTML & CSSの本

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：小森 学 (非常勤講師)
実務経験：カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。主に広告写真撮影、人物写真撮影等を手掛けている。

科目名： **撮影基礎**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：一眼レフカメラの基本操作と撮影の基礎を学び、各自のクリエイティブワークへ活かす。写真をヴィジュアルとする場合の画面構成や人物の配置、表情の重要性を学びより実践的な表現力を習得する。

■到達目標：1: 一眼レフカメラの基本操作と簡易的な照明を用いた撮影ができる。
2: 自分の求めるクリエイティブワークに写真表現を取り入れ表現領域を広げる。

■授業計画：

- 第1回 撮影基礎①(カメラの基本操作、露出・シャッタースピード・絞り、屋内外自由撮影)
- 第2回 撮影基礎②(カメラの応用操作、屋内外での風景・人物撮影)
- 第3回 撮影基礎③(カメラの応用操作、屋内外での風景・人物撮影)
- 第4回 写真表現①(自由撮影、ライティング・構成・背景)
- 第5回 写真表現②(自由撮影、ライティング・構成・背景、写真データのレタッチ実習)
- 第6回 写真表現③(自由撮影、ライティング・構成・背景、写真データのレタッチ実習)
- 第7回 商品撮影実習①(小物商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第8回 商品撮影実習②(小物商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第9回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフをもとに小物や背景を構成し、広告用写真を撮)
- 第10回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフをもとに小物や背景を構成し、広告用写真を撮)
- 第11回 授業連携課題 広告ポスター制作(撮影した写真データのレタッチ実習)
- 第12回 人物撮影実習①(企業・ブランドなどを想定した広告制作、レタッチ実習)
- 第13回 人物撮影実習②(企業・ブランドなどを想定した広告制作、レタッチ実習)
- 第14回 人物撮影実習③(企業・ブランドなどを想定した広告制作、レタッチ実習)
- 第15回 ディスカッション・合評会

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 美絵 (専任教員)
実務経験：大手印刷会社の包装開発部門で、ディレクターとして勤務。商品企画およびパッケージデザインのアートディレクションに携わる。JPDA(日本パッケージデザイン協会)会員。

科目名：パッケージデザインⅠ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：市場に出回っているパッケージには、どのような種類(構造・包装材料・印刷方式等)と機能(情報伝達・商品保護・可搬性等)があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について理解する。またパッケージデザインを構成している要素とその役割について意識を高める。

■到達目標：1: 代表的なパッケージの種類について、身の回りにある商品から具体的な事例を探することができる。
2: パッケージデザインが果たす店頭広告としての役割、イメージ戦略的效果について理解している。
3: 商品の魅力を伝える情報を精査し、可視化するアイデアを出すことができる。

■授業計画：

- 第1回 概論1: パッケージの代表的な種類と機能
- 第2回 概論2: パッケージデザインの構成要素
- 第3回 パッケージと情報伝達①(商品から情報を読み解く)
- 第4回 パッケージと情報伝達②(競合商品の比較観察と分析)
- 第5回 「らしさ」の可視化とパッケージデザイン①
- 第6回 「らしさ」の可視化とパッケージデザイン②
- 第7回 「らしさ」の可視化とパッケージデザイン③
- 第8回 「らしさ」の可視化とパッケージデザイン④
- 第9回 「らしさ」の可視化とパッケージデザイン⑤
- 第10回 パッケージの材質と構造
- 第11回 地域の魅力を伝えるパッケージデザイン①
- 第12回 地域の魅力を伝えるパッケージデザイン②
- 第13回 地域の魅力を伝えるパッケージデザイン③
- 第14回 地域の魅力を伝えるパッケージデザイン④
- 第15回 地域の魅力を伝えるパッケージデザイン⑤

■教科書：

■参考書：『箱 しくみとかたち』『パッケージデザインの入り口』

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：菊地 和広 (非常勤講師)
実務経験：大手印刷会社・広告代理店・デザインプロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。グラフィックデザイン全般に携わっている。

科目名： **グラフィック表現テクニック**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

- 科目概要：アートディレクター・グラフィックデザイナーにとって重要視される「独創性」「着眼点」に対し、「表現」というフィルターを通すことで感性を磨くと共に、各自が秘めている可能性を見つけ出す。
- 到達目標：さまざまな「表現」に見る・触れる、かつオリジナルの「表現」を作る・見せることで、独自の感性を発見する。

■授業計画：

- 第1回 学外展示用グラフィック制作(ポスター①)
- 第2回 学外展示用グラフィック制作(ポスター②)
- 第3回 学外展示用グラフィック制作(ポスター③)
- 第4回 学外展示用グラフィック制作(ポスター④、ガリ版作品①)
- 第5回 学外展示用グラフィック制作(ガリ版作品②)
- 第6回 学外展示用グラフィック制作(ZINE①)
- 第7回 学外展示用グラフィック制作(ZINE②)
- 第8回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作①(B1ポスター)
- 第9回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作②(B1ポスター)
- 第10回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作③(B1ポスター)
- 第11回 学外展示 会場搬入・展示作業
- 第12回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作④(B1ポスター)
- 第13回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作⑤(B1ポスター)
- 第14回 課題①(2words,1image 2つの単語を用いた作品制作)
- 第15回 課題②(点・線・円を用いた作品制作)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 幸子 (非常勤講師)
実務経験：フリーランスのアートディレクター・グラフィックデザイナー。主にアーティストやバンドのツアーグッズ等の商品企画およびアートディレクション・グラフィックデザインを担当。

科目名：インフォメーションデザイン

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

- 科目概要：
1: コミュニケーションツールとして、インフォグラフィックスを用いて自己表現する。
2: 情報を整理・分析し、クライアントの求めているものをくみ取り分かりやすく伝えるための表現方法を学ぶ。
3: 編集やレイアウトの工夫で、より効果的に伝達する方法を学ぶ。
- 到達目標：
1: 伝えたい情報を可視化する力を養う。
2: 収集した情報を整理する力と、さまざまなインフォグラフィックスの特性を理解し、コンセプトに沿ったビジュアルで表現する力を養う。
3: 効果的に伝達する表現力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 インフォグラフィックスによる自己表現①(自己紹介インフォグラフィックス制作、自己紹介)
- 第3回 企業連携 コンペ: ポスター制作(オリエンテーション)
- 第4回 企業連携 コンペ: ポスター制作(ラフ制作・チェック)
- 第5回 企業連携 コンペ: ポスター制作(実制作)
- 第6回 企業連携 コンペ: ポスター制作(実制作)
- 第7回 企業連携 コンペ: ポスター制作(プレゼンテーション)
- 第8回 情報の整理・分析・表現①(企画・情報収集)
- 第9回 情報の整理・分析・表現②(打ち合わせ・ラフ制作・ラフチェック・実制作)
- 第10回 情報の整理・分析・表現③(実制作)
- 第11回 情報の整理・分析・表現④(仕上げ・プレゼンテーション・提出)
- 第12回 情報の編集①(レイアウト・ラフ制作)
- 第13回 情報の編集②(レイアウト・実制作)
- 第14回 情報の編集③(実制作)
- 第15回 情報の編集④(仕上げ・プレゼンテーション・提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験： 広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、
広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コミュニケーションデザイン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： あらゆるデザインの前提になるのが「コミュニケーション」であることを踏まえ、1年時の「コンセプトメイキング」の授業をより実践的な形で継承することで、思考＞発見＞表現＞評価の一貫した作業を通じて、人とデザイン、社会とデザインの関わりを学習する。

■到達目標： グラフィックだけにとどまらず、デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、社会におけるデザインの意義や価値を見出すことができるような視点とマインドを持てるようになること。
卒業後の職業としてデザインとどう関わっていくかを模索し、意思決定することを目指す。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 ラジオCMの企画制作①(ラジオCMコンテスト 企画)
- 第3回 ラジオCMの企画制作②(ラジオCMコンテスト 原稿制作)
- 第4回 ラジオCMの企画制作③(ラジオCMコンテスト 最終チェック・応募)
- 第5回 問題解決のデザイン①(デザイナーの目でモノを見る、新たな視点の獲得)
- 第6回 問題解決のデザイン②(デザインの課題発見、改良、再構築)
- 第7回 問題解決のデザイン③(実制作、PDCA)
- 第8回 問題解決のデザイン④(実制作、PDCA)
- 第9回 問題解決のデザイン⑤(実制作、PDCA)
- 第10回 問題解決のデザイン⑥(プレゼンテーション、講評)
- 第11回 コミュニケーションデザイン実習①(企画～総合的なデザインの流れを学ぶ)
- 第12回 コミュニケーションデザイン実習②(オリエン、情報収集、コンセプトメイクなど)
- 第13回 コミュニケーションデザイン実習③(実制作)
- 第14回 コミュニケーションデザイン実習④(実作業、PDCA)
- 第15回 コミュニケーションデザイン実習⑤(実作業、プレゼンテーション、講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：曾澤 浩一（非常勤講師）
実務経験：広告制作会社を経営し、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名： **広告デザイン演習Ⅱ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：課題制作を通じて、広告制作の現場が今必要としている人材を育成していく。広告とは何か？ということを変更してしっかりと理解し、実際の仕事におけるデザイナー・アートディレクターとして制作プロセスを学ぶ。

■到達目標：1: コピーライティング・タイポグラフィ・撮影等、総合的な広告制作のノウハウやスキルが身に付いている。
2: 1つの着地点に対して多面的なアプローチができる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 課題①: 実践的・総合的な広告制作(プロモーションツール)
- 第3回 課題②: 企業コンペ(企業講和・オリエンテーション)
- 第4回 課題②: 企業コンペ(実制作)
- 第5回 課題②: 企業コンペ(実制作)
- 第6回 課題②: 企業コンペ(制作)
- 第7回 課題②: 企業コンペ(制作)
- 第8回 課題②: 企業コンペ(制作)
- 第9回 課題②: 企業コンペ(仕上げ・提出)
- 第10回 課題②: 企業コンペ(企業プレゼンテーション)
- 第11回 課題①: 実践的・総合的な広告制作(プロモーションツール)
- 第12回 課題①: 実践的・総合的な広告制作(プロモーションツール)
- 第13回 課題③: コンペ応募タイポグラフィ作品(夏休み宿題チェック・実制作)
- 第14回 課題③: コンペ応募タイポグラフィ作品(実制作)
- 第15回 課題③: コンペ応募タイポグラフィ作品(実制作、応募に向けた準備)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：木野村 博人 (非常勤講師)
実務経験：広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名： **DTP演習Ⅲ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：制作演習を通じてInDesignの基礎操作を学びながら、マージンや文字組に配慮したレイアウト力を強化する。小冊子制作では企画力の向上も図り、現場に即した制作のワークフローを学びながら、InDesignによる入稿までを学ぶ。

■到達目標：
1:各アプリケーションの応用技術を身に付け、制作物に応じたソフトの選択ができる。
2:InDesignの基本操作と実践的なフィニッシュワークを理解し、オペレーションができる。
3:冊子制作の企画立案・取材・協働作業・校正の技術を身に付けている。
4:これまで身に付けた知識と技術を活かし、制作物の完成度を高めることができる。

■授業計画：

- 第1回 アプリケーション基礎①
(InDesignの基本操作・他のアプリケーションとの相違点・DTPのワークフロー)
- 第2回 アプリケーション基礎②(チラシ制作、adobe:チュートリアル使用)
- 第3回 アプリケーション基礎③(チラシ制作、adobe:チュートリアル使用)
- 第4回 アプリケーション基礎④(複数ページレイアウト、adobe:チュートリアル使用)
- 第5回 アプリケーション基礎⑤(複数ページレイアウト、adobe:チュートリアル使用)
- 第6回 アプリケーション基礎⑥(adobe:チュートリアル使用)
- 第7回 アプリケーション基礎⑦(adobe:チュートリアル使用)
- 第8回 アプリケーション基礎⑦(adobe:チュートリアル使用)
- 第9回 bisenブックレット別冊①(企画立案、ページネーションとタイトル決定)
- 第10回 bisenブックレット別冊②(取材・実制作)
- 第11回 bisenブックレット別冊③(実制作)
- 第12回 bisenブックレット別冊④(実制作)
- 第13回 bisenブックレット別冊⑤(校正・データ修正)
- 第14回 bisenブックレット別冊⑥(再校・データ修正)
- 第15回 bisenブックレット別冊⑦(製本提出、プレゼンテーション)

■教科書： InDesign基礎入門

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かわり、和田夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **DTP演習Ⅳ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 1: 一年次で習得したアプリケーションの応用、卒業制作に向けた入稿データ制作方法について学ぶ。
2: 印刷に関する知識を深め、検定試験に対応した学習を通じてスキル定着を目指す。
3: 就職活動用ポートフォリオ制作を通じて構成力や応用力を養う。

■到達目標： 1: 印刷物となるデジタルデータについて、制作上の注意点をセルフチェックできる。
2: 制作物に応じて各種アプリケーションを組み合わせることができる。
3: 卒業制作や就職後、業務に対応出来る技術力・デザイン力・表現力が身についている。

■授業計画：

- | | |
|------|--------------------------------|
| 第1回 | PC設定及び動作確認、操作・ファイル管理などの再確認 |
| 第2回 | コンペ課題①(アイディアチェック及びデータ制作) |
| 第3回 | コンペ課題②(データ制作) |
| 第4回 | コンペ課題③(データ制作) |
| 第5回 | コンペ課題④(データ制作) |
| 第6回 | コンペ課題⑤(データ制作・データ仕上げ) |
| 第7回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第8回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第9回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第10回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第11回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第12回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第13回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第14回 | 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第15回 | 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：佐々木 裕司 (非常勤講師)
実務経験：デザイン会社でDTPのディレクション業務を担当。現在はフリーランスとしてWebデザインを中心としたグラフィックデザインに携わる。

科目名：WebデザインⅡ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：1:1年時の授業を踏まえて、より実践的なWebサイトデザインの技術を身につける。
2:Webサイトの役割を理解し、印刷媒体とは異なる情報発信のためのレイアウト技術を身につける。
3:レスポンスデザインの概念・必要性を理解し、柔軟なWebサイトデザインに対応する視点を身につける。

■到達目標：1:HTML・CSSコーディングを視野に入れたWebサイトデザインの制作ができる。
2:レスポンスデザインの理解とWebサイトデザインへの応用ができる。

■授業計画：

- 第1回 ワイヤーフレーム制作
- 第2回 レスポンスデザイン
- 第3回 デザインカンパ制作①-1(PC向け)
- 第4回 デザインカンパ制作①-2(PC向け)
- 第5回 デザインカンパ制作①-3(PC向け)
- 第6回 デザインカンパ制作②-1(携帯端末向け)
- 第7回 デザインカンパ制作②-2(携帯端末向け)
- 第8回 デザインカンパ制作②-3(携帯端末向け)
- 第9回 原稿制作(Webサイトへの掲載)
- 第10回 原稿制作(Webサイトへの掲載)
- 第11回 デザインカンパ制作③-1(PC向け・携帯端末向け)
- 第12回 デザインカンパ制作③-2(PC向け・携帯端末向け)
- 第13回 デザインカンパ制作③-3(PC向け・携帯端末向け)
- 第14回 デザインカンパ制作③-4(PC向け・携帯端末向け)
- 第15回 デザインカンパ制作③-5(PC向け・携帯端末向け)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：引地 幸生 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店クリエイティブディレクターとして勤務後独立。企業ブランドに関わる商品開発やパッケージデザイン、コミュニケーションデザインなどを手掛ける。

科目名： **専門技術演習 I (ブランディングデザイン)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：ブランドという概念やデザインがブランドに果たす重要な役割について理解してもらうと同時に、ブランディングデザインの考え方や手順、発信方法について課題を通して学習する。

■到達目標：ブランディングの手法を通して、幅広い発想力や表現力、企画力、プレゼンテーション力を養う。

■授業計画：

- 第1回 ブランディングデザインとは？
- 第2回 ブランディングデザインの手法を学ぶ①
(ブランド・ファウンデーションとRIOスプリングボードを活用した方法)
- 第3回 ブランディングデザインの手法を学ぶ②
グループワークによるブランド・ファウンデーション(リサーチと分析)
- 第4回 ブランディングデザインの手法を学ぶ③
グループワークによるブランド・ファウンデーション(コンセプトづくり)
- 第5回 ブランディングデザインの手法を学ぶ④
プレゼンテーション・講評
- 第6回 商品ブランディング①(企画書制作)
- 第7回 商品ブランディング②
- 第8回 商品ブランディング③
- 第9回 商品ブランディング④
- 第10回 商品ブランディング⑤(プレゼンテーション・講評)
- 第11回 トータルブランディング①(企画書制作)
- 第12回 トータルブランディング②
- 第13回 トータルブランディング③
- 第14回 トータルブランディング④
- 第15回 トータルブランディング⑤(プレゼンテーション・講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：野村 ソウ (非常勤講師)
実務経験：制作プロダクションにてデザイナーとして勤務、飲食店にてデザイナー兼スタッフとして勤務後、独立。

科目名： **専門技術演習 I (アートディレクション)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：
1:アートディレクションの解説
2:アートディレクションの研究
3:アートディレクションの学習・実践

■到達目標：
アートディレクションの基礎知識の習得をしながら表現力を育て、
型にはまらないアイデアを基軸にしたデザイン思考を伴うアートディレクション能力を培う。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、アートディレクション解説
- 第2回 アートディレクション研究①
- 第3回 アートディレクション研究②
- 第4回 アートディレクション実習 課題①アイデンティティのビジュアル化(コンセプトの立案)
- 第5回 アートディレクション実習 課題①アイデンティティのビジュアル化(ロゴタイプ)
- 第6回 アートディレクション実習 課題①アイデンティティのビジュアル化(ロゴタイプ)
- 第7回 アートディレクション実習 課題①アイデンティティのビジュアル化(ビジュアル・レイアウト)
- 第8回 アートディレクション実習 課題①アイデンティティのビジュアル化(ビジュアル・レイアウト)
- 第9回 アートディレクション実習 課題①アイデンティティのビジュアル化(プレゼン、講評)
- 第10回 アートディレクション実習 課題②世界観を表現(撮影・制作)
- 第11回 アートディレクション実習 課題②世界観を表現(制作・プレゼンテーション、講評)
- 第12回 アートディレクション実習 課題③公共広告(企画・コンセプトのみ先行プレゼン)
- 第13回 アートディレクション実習 課題③公共広告(制作)
- 第14回 アートディレクション実習 課題③公共広告(制作)
- 第15回 アートディレクション実習 課題③(制作・プレゼンテーション、講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 龍次 (非常勤講師)
実務経験：カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。様々な媒体の広告写真の撮影を手掛けている。

科目名： **専門技術演習 I (撮影テクニック)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：一眼レフカメラ、照明機材の操作を習得し、基本的な撮影技法と写真データの扱い方を学ぶ。広告写真緒役割や能力の理解を深め、プレゼンや撮影進行までのワークフローを学ぶ。

■到達目標：
1: 一眼レフカメラを理解し、最大限性能を生かした撮影ができるようになる。
2: 選択した被写体に対して適切な手段を使用し意図した撮影ができるようになる。
3: 実践形式で撮影現場を体験することで、制作の流れを理解し、デザインの創作の幅を広げる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 写真評論会
- 第3回 撮影実習(展示用)
- 第4回 撮影実習(展示用)
- 第5回 スタジオ実習 基礎編(各種機材の仕様、セットを組む)
- 第6回 スタジオ実習 小物撮影(切り抜き作業)
- 第7回 スタジオ実習 商品撮影(構角)
- 第8回 スタジオ実習 商品撮影(切り抜き作業)
- 第9回 スタジオ実習 人物撮影(切り抜き作業)
- 第10回 スタジオ実習 人物撮影(構角)
- 第11回 スタジオ実習 人物撮影(構角室内ロケ、ストロボ、露出バランス)
- 第12回 スタジオ実習 料理撮影(ご飯もの)
- 第13回 スタジオ実習 料理撮影(お菓子)
- 第14回 スタジオ実習 商品・人物・料理(写真メインのA4ポスター制作)
- 第15回 スタジオ実習 商品・人物・料理(写真メインのA5ポスター制作、プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：伊豆倉 靖 (非常勤講師)
実務経験：広告制作プロダクション、広告代理店にてグラフィックデザイナー、アートディレクターとして勤務の後、独立。主に広告ほか、グラフィックデザイン全般の企画、制作に携わる。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(広告プランニング)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：フラワーデザイン専攻とのコラボ企画。オリジナルブランド「thubomi」のブランディング。パッケージからイベント時のPRツール、小型印刷物や広告展開など一連のブランドプロモーションを作り上げていく過程を実作業を通して学ぶ。

■到達目標：具体的なイベントに向け、ブランドPRのために必要となるツールを企画し、デザインを完成させる。広く継続的にブランドコンセプトとイメージの浸透、そしてファンづくりを目指すことを目的とした制作物を作る。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 授業連携「thubomi」ブランディング(ブランドリサーチ、競合研究、分析)
- 第3回 授業連携「thubomi」ブランディング(パッケージデザイン)
- 第4回 授業連携「thubomi」ブランディング(パッケージデザイン)
- 第5回 授業連携「thubomi」ブランディング(パッケージデザイン)
- 第6回 授業連携「thubomi」ブランディング(イベント向け各種PRツールデザイン)
- 第7回 授業連携「thubomi」ブランディング(イベント向け各種PRツールデザイン)
- 第8回 授業連携「thubomi」ブランディング(イベント向け各種PRツールデザイン)
- 第9回 授業連携「thubomi」ブランディング(広告ポスター)
- 第10回 授業連携「thubomi」ブランディング(広告ポスター)
- 第11回 授業連携「thubomi」ブランディング(広告ポスター)
- 第12回 授業連携「thubomi」ブランディング(商品広告の企画・制作)
- 第13回 授業連携「thubomi」ブランディング(商品広告の企画・制作)
- 第14回 授業連携「thubomi」ブランディング(商品広告の企画・制作)
- 第15回 授業連携「thubomi」ブランディング(プレゼンテーション、ディスカッション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 早坂 宣哉 (非常勤講師)
実務経験： ポスターやCM等の広告をはじめ、ロゴ・パッケージ・web・サイン・内装など、店舗や企業のブランディングを担当。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(パッケージデザインⅡ)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 具体的な顧客を想定したブランドデザインの中で、ロゴからパッケージデザイン、店頭ディスプレイへの定着を实践。デザインので“売る”を学ぶ。

■到達目標： 販売戦略やプロモーションを見据えたブランドのデザインを学び、売れるパッケージデザインに必要な基礎知識やアートディレクションの力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション(「売る」を軸としたデザイン・事例紹介)
- 第2回 課題①ロゴデザイン(座学、ロゴデザイン案作成)
- 第3回 課題①ロゴデザイン(実制作)
- 第4回 課題①ロゴデザイン(実制作)
- 第5回 課題①ロゴデザイン(プレゼンテーション)
- 第6回 課題①ロゴデザイン(ブラッシュアップ)
- 第7回 課題①ロゴデザイン(ブラッシュアップ、プレゼンテーション)
- 第8回 課題②直販パッケージデザイン(座学、オリエン)
- 第9回 課題②直販パッケージデザイン(販売戦略、デザイン案作成)
- 第10回 課題②直販パッケージデザイン(実制作)
- 第11回 課題②直販パッケージデザイン(実制作、プレゼンテーション)
- 第12回 課題②卸売パッケージデザイン(座学、デザイン案作成)
- 第13回 課題②卸売パッケージデザイン(実制作)
- 第14回 課題②卸売パッケージデザイン(実制作)
- 第15回 課題②卸売パッケージデザイン(実制作、プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：種村 美穂 (非常勤講師)
実務経験：デザイン工房を主催し、デザイナーおよび職人として主にサインデザイン・シルクスクリーン印刷等を手掛ける。北海道美術協会・北海道版画協会会員。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(シルクスクリーン)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：水性インクを用いて布にパターンデザインを展開する・油性インクを用いて紙に多色刷りを展開する等、シルクスクリーンの基本技術の習得および印刷特性を踏まえた効果的表現について考察する。また多色刷り中型作品は公募展への出品を想定。

■到達目標：
1: リピート性を活かしたオリジナリティーのあるパターンデザインと配色の工夫ができる。
2: グラデーションや版の位置合わせができ、構図や配色のバランスを考えた表現ができる。
3: 公募展出品に向け、伸びやかさとオリジナリティーのある表現を工夫できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、シルクスクリーン基礎知識、制作準備
- 第2回 課題①布にパターンを刷る(手ぬぐい他デザイン・製版準備)
- 第3回 課題①布にパターンを刷る(ラフ制作・チェック、版下フィルム制作)
- 第4回 課題①布にパターンを刷る(製版・調色)
- 第5回 課題①布にパターンを刷る(刷り)
- 第6回 課題①布にパターンを刷る(刷り)
- 第7回 課題①布にパターンを刷る(Tシャツ、トートバッグ刷り)
- 第8回 課題①布にパターンを刷る(Tシャツ、トートバッグ刷り)
- 第9回 課題①布にパターンを刷る(刷り・落版、プレゼンテーション、提出)
- 第10回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、ラフ制作・チェック)
- 第11回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第12回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第13回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、製版・調色)
- 第14回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、刷り)
- 第15回 課題2: 紙に多色で刷る(刷り、落版、プレゼンテーション、提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 宮崎 昭人 (非常勤講師)
実務経験： Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務(観光・ビジネス・科学・法務分野等)、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座。

科目名：

英語

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標： 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む。

■授業計画：

- 第1回 はじめに：仕事のシーンで間違った英語を使ってしまわない感覚を磨く
- 第2回 身の回りの英語：会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味
- 第3回 英会話基礎：日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ
- 第4回 品詞の理解：辞書の使い方
- 第5回 品詞別重要ポイント①：名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方
- 第6回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第7回 品詞別重要ポイント②：動詞(be動詞、一般動詞)、助動詞の使い方
- 第8回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第9回 品詞別重要ポイント④：接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方
- 第10回 翻訳：翻訳の種類(直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する)
- 第11回 翻訳：自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得
- 第12回 自己紹介
- 第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン
- 第14回 日常で使用する英語：住所表記、入国カード、日本食の英語表現
- 第15回 まとめ

■教科書： プリント配布

■参考書： 辞書があれば望ましい

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：